

平成28年度

事業報告書

公益財団法人 静岡産業振興協会

目 次

<総 括>	2
1 公益目的事業	3
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	3
① 展示場の貸与	3
② 会議室及び附帯駐車場の貸与	4
(2) 地場産業支援事業	4
① 新製品、新技術及びデザイン開発支援事業	4
② 人材養成、人材確保、情報収集推進事業	5
③ 「産業フェアしずおか2016」	6
(3) 都市型産業支援事業	7
① 起業者支援事業	7
② マーケティング支援事業	9
③ 産学連携事業	11
④ 情報提供事業	12
⑤ 施設提供事業（静岡市産学交流センターの維持管理）	13
(4) 静岡市中小企業支援センター事業	13
① 窓口相談等事業	13
② 専門家派遣事業	14
③ 新連携・地域資源活用プログラム等利用支援事業	14
④ 中小企業等販路開拓支援事業	14
⑤ 制度融資関連事務	16
2 収 益 事 業	17
(1) 公益目的事業以外の展示場の貸与（ツインメッセ静岡）	17
(2) 施設利用者等の利便性向上	17
3 施設利用促進事業	18
(1) 施設見学会の開催	18
(2) 個別訪問活動	18
(3) 展示会への出展	18
① ビジネスマッチング	18
② 山梨しんきんビジネスマッチング2016	18
③ 国際ミーティング・エキスポ	19
(4) 広報媒体の活用	19
(5) その他	19
4 施設の利用状況等（ツインメッセ静岡）	21
(1) 展示場の利用状況	21
① 利用件数・利用日数・利用率	21
② 地域別利用状況	22
③ 企業等規模別利用状況	22
④ 展示場の業種別利用状況	23
(2) 会議室の利用状況	24
(3) 有料駐車場の利用状況	24
(4) 年間来場者数	25
5 施設・設備の修繕等（ツインメッセ静岡）	25
6 理事会・評議員会等	26
(1) 理事会	26
(2) 評議員会	26
(3) 登記事項	26
(4) 役 員	27
(5) 組 織	27

＜総 括＞

日本経済は、緩やかな回復基調が続いており、賃金上昇や消費拡大が期待されているものの内外情勢の先行き不透明感が強く、景気回復に向けた明るい材料が乏しい状況となっている。

平成 28 年度、当協会では地域の中小企業等に対する支援をとおり、地域産業の振興及び地域経済の発展に寄与するためツインメッセ静岡の管理運営並びに利用促進事業、市内地場産業支援事業及び静岡市産学交流センターにおける都市型産業支援事業を実施した。

ツインメッセ静岡における貸館の利用状況は、大展示場の利用率は微減となったものの、定時利用の催事はおおむね前年度並みに推移し、「第 29 回技能グランプリ静岡県大会」が県内 6 会場の 1 つとして開催されたほか、19 年ぶりに「大相撲富士山場所」が開催された。また、小展示場は、国勢調査による長期利用がなくなったため利用率は低下となった。

地場産業支援事業は、新たな試みとして学術・産学連携講演会の開催や海外販路開拓を目的とした公開講演会を実施した。

利用促進事業は、昨年度に引き続き中部横断自動車道の開通を見込んだ山梨地区の企業や団体等への営業活動を実施したほか、オリンピックが開催される 2020 年の展示会場問題には、静岡地区への催事誘致を積極的に推し進めるため、グランシップとの間で「大規模コンベンションの共同誘致に関する協定」を締結した。また、「ツインメッセ静岡」の経済波及効果を測定し、施設の有効性を検証した。

産学交流センターでは、起業者、中小企業者に対する経営相談・指導、マーケティングに特化した支援事業を実施したほか、産学連携事業は産学連携コーディネーターを増員し、幅広い分野で連携を図るとともに、これまで以上に中小企業者からの技術的な相談に応える体制を整えた。

1 公益目的事業

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

① 展示場の貸与

地域産業の活動支援や人材育成など、公益を目的とした事業実施のため、地場産業団体、地元中小企業や国、県、市などの行政機関に展示場施設を貸与した。貸与全体に占める公益比率は72.7%で、前年と比べ6.4ポイント下降したが、これは興行催事やゲーム大会などの収益目的での利用が増加したことが主な原因である。

主な事業は次のとおりである。

$$\text{※公益比率} = \frac{\text{公益を目的とする展示場貸与に係る会場使用料}}{\text{展示場貸与に係る会場使用料}}$$

<地場産業団体・一般企業等>

催 事 名	使用期間	催 事 名	使用期間
三協アルミ エクステリア新商品展示会	3/31～4/3	静岡優良ツキ板展示大会 (第52・53・54回)	4/14～16 9/26～28 2/6～8
第55回 静岡ホビーショー	5/9～15	シズオカ[KAGU]メッセ 2016	5/29～6/5
第40回駿河の家具・インテリア展	6/3～5	2016 静岡木工/産業機械展	6/10～13
ジャパンレプタイルズショー (夏・冬)	8/5～7 1/13～15	しんきんビジネスマッチング 静岡 2016	10/11・12
タミヤフェア 2016	11/17～20	クリスマスフェスタ 2016	12/8～11
介護福祉士国家試験	1/28・29	第40回静岡どてらい市	3/9～13

注) 国、県、市が民間へ委託した事業は、ここに分類した。



シズオカ「KAGU」メッセ 2016
のオープニング風景



毎年、立錫の余地もなくなる
ほど、全国の模型ファンが詰め
掛ける「静岡ホビーショー」

<国・県・市 等>

催 事 名	使用期間	催 事 名	使用期間
静岡市職員採用試験	6/25・26	静岡障害者技能競技大会	7/8・9
参議院議員通常選挙開票業務	7/10・11	ものづくりフェスタ 2016	9/2・3
登録販売者試験	9/6・7	静岡・清水税務署合同確定申告	2/6～3/16
第29回技能グランプリ静岡県大会	2/7～13	ふじのくに食の都の祭典	2/16～19

注) 国、県、市に係わる共催事業は、ここに分類した。



全館を使って開催された「技能グランプリ」の会場風景



「ふじのくに食の都の祭典」の会場風景

② 会議室及び附帯駐車場の貸与

中小企業や各種団体等の技術向上セミナーや社員教育セミナー、資格試験、大学入試などの会場として会議室を貸与した。また、附帯駐車場は、来館者の利便を図るため年間をととして貸与した。

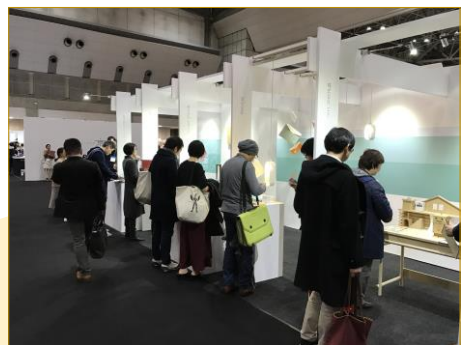
(2) 地場産業支援事業

① 新製品、新技術及びデザイン開発支援事業(ニューウェーブ「しずおか」創造事業)

新商品開発に積極的な地元製造メーカーとプロデューサーやデザイナー等が共同で静岡の特色を活かした生活者ニーズの高い商品開発事業を行った。展示発表では、新たなコンセプトでアプローチした開発商品が SNS 等の情報サイトで話題となった。

◆参加企業 (7 社)

するがクリエイティブ／DCS corp.／
杉本家具(株)／(株)エンジェルック／(株)依田工業所／
(株)もちひこ／(株)えて



製造メーカー、プロデューサー、デザイナーのコラボによる斬新な商品が来場者の目をひいた。
(東京インターナショナル・ギフト・ショー)

◆参加デザイナー (6 社)

studio yumakano 狩野佑真／
KENICHIRO OOMORI MOVING DESIGN 大森謙一郎／
(株)studio mufufu 水島直洋＋寺西正貴＋水島左苗＋近藤潤／
(株)アンノデザインオフィス 阿武優吉／UMENODESIGN 梅野聡／mag design labo. 花澤啓太

◆展示発表会

東京インターナショナル・ギフト・ショーLIFE×DESIGN

- ・期 日 H29 年 2 月 1 日(水)～3 日(金)
- ・会 場 東京ビッグサイト

② 人材養成、人材確保、情報収集推進事業

<伝統工芸技術保存講習会>

伝統工芸業界の後継者を対象に、伝統工芸技術の保存・練磨及び新技術の習得を支援するため、伝統工芸技術保存講習会を開催した。

静岡市伝統工芸技術秀士の松島氏から剝物の高度な技術を学ぶ受講生



	漆器の部	竹工の部	木工の部	蒔絵の部	拭漆の部
期 間	20 日	11 日	17 日	20 日	8 日
講 師	細田豊 氏	高橋一雄 氏	松島富蔵 氏	長谷川雅英 氏	安藤嘉津夫 氏
受講者数	9 人	8 人	4 人	10 人	8 人
内 容	メンパ・曲物	扇形菓子器	剝物(クレノ)	棗(ナツメ)	拭漆実習

<デザイン振興事業>

印刷媒体による広報活動の強化と市内デザイン団体の活性化を図るため、デザイナー団体設立の趣旨、活動等を紹介するパンフレットを作製した。また、デザイナー団体の定例会への参加をとおし業界の情報収集とコミュニケーションの活性化に努めた。

◆パンフレットの作製

- ・作製部数 1,000 部
- ・設置場所 ギャラリー、展示場、公共施設等

<静岡ものづくり相談・支援事業>

地場産業界が抱える課題、問題等の解決並びに地場産業のデザイン力、技術力、商品開発力等の向上を図るため、次の事業を実施した。

◆学術、産学連携講演会

研究機関等の高度な知識や技術等を習得してもらうため、地場産業の若手後継者を対象に芸術系大学教授等を講師に迎え、学術、産学の連携による講演会を開催した。

- ・期 日 平成 29 年 3 月 14 日 (火)
- ・会 場 静岡市産学交流センターB-nest 7 階小会議室 1
- ・テーマ 「五十嵐久枝が想う静岡と寺田尚樹が語る地域産業～

静岡地域産業の“これから”について語り合いましょう～」

- ・講師 五十嵐久枝氏
(IGARASHI DESIGN STUDIO 代表
武蔵野美術大学教授)
- 寺田尚樹氏
(株式会社インターオフィス取締役社長
武蔵野美術大学非常勤講師)
- ・参加者 23 名



講師を囲み熱心に聞き入る地場産業の若手後継者たち

◆公開講演会

- ・期 日 平成 28 年 9 月 26 日 (月)
- ・会 場 ツインメッセ静岡 409 会議室
- ・テーマ 「～SHIZUOKA～ドイツで売れるモノづくりへの挑戦」
- ・講師 鈴木里美氏
(株式会社 SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長
Sa:Su Network 代表取締役社長)
- ・参加者 市内製造業関係者など 41 名



ドイツでの商品販売のコツ、手法を学ぶ市内の製造業関係者

③「産業フェアしずおか 2016」

今年度の“産業フェアしずおか”は、出展団体数が昨年より 12 団体少ない 186 団体となったが、会場内各ブースは連日大勢の人で賑わい、入場者数は 89,000 人と昨年を 2,200 人上回った。

特に、「オクシズ」ブースと「しずまえ」ブースには新鮮な農産物、海産物を求める大勢の人が詰め掛け、8 年目を迎えた“静岡おみやプロジェクト”は、斬新なアイデア商品が人気を集めていた。

- ・期 日 平成 28 年 11 月 26 日 (土)・27 日 (日)
- ・テーマ 「見たい！買いたい！味わいたい！
静岡のいいね！が大集合!!」
- ・会 場 ツインメッセ静岡
北館・南館大展示場
- ・出展団体 186 団体
- ・来場者数 89,000 人



新鮮な農産物、海産物を求めて大勢の人で賑わう「オクシズ」ブース (上) と「しずまえ」ブース (左下)



斬新な商品が人気の「静岡おみやプロジェクト」ブース

(3) 都市型産業支援事業

静岡市産学交流センターの指定管理者として、「創業や新産業にチャレンジする人・企業を積極的に見だし、共に考える」、「中小企業と大学、中小企業のサポーターとの接点を創り出す」ことを理念に掲げ各種事業を実施した。

① 起業支援事業

資本や人材等の経営資源に乏しい起業家がスムーズに事業を開始し、独り立ちするための支援として、経営相談・指導及び事業機会拡大のための各種事業の企画・実施並びに創業者支援セミナーを開催した。

<起業・経営相談>

起業希望者や起業後間もない人及び中小企業者等を対象に起業や経営に関する悩みや課題解決に向け、プロジェクトマネージャーをはじめとする支援スタッフによる事業指導、経営相談を実施した。また、平成 28 年度は、「SOHOしずおか」が当センター内へ移転したことにより起業支援の体制が一層強化された。

<大学等起業家育成支援事業(ビジネス実践講座)>

大学や高等学校等の学生を対象に、「ビジネス実践講座」を実施し、起業におけるアイディアの出し方、事業・資金計画の策定の仕方等の基礎的知識の習得機会を提供し、“起業家精神”の育みや「職業」、「会社の仕組み」等への理解を深めた。

実施大学等の名称	実施回数	参加者数
静岡大学	3 回	9 名
静岡英和学院大学	3 回	13 名
静岡県立大学	3 回	14 名
常葉大学	2 回	6 名
静岡デザイン専門学校	6 回	34 名
静岡県立静岡商業高等学校	3 回	6 名
静岡県立農業高等学校	2 回	49 名
静岡県立科学技術高等学校	1 回	41 名
静岡県立駿河総合高等学校	3 回	22 名
静岡市立高等学校	1 回	275 名
合計 (10 校)	27 回	469 名



中小企業診断士の話を熱心に
聴く学生たち

<SOHOしずおかとの連携（ビジネスプランコンテストの開催）>

静岡県内で新規に事業展開を目指す事業者及び学生を対象に、起業家精神の高揚と柔軟な発想力・独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービス開発促進の支援を目的として、SOHO しずおかと共同でビジネスプランコンテストを開催した。

この事業は、ビジネスプランの作成から事業の立ち上げまで、一貫した支援体制が特徴となっている。



学生が考えたビジネスプランの発表を聴き、拍手を送る聴講者たち

◆開催スケジュール

- ・ 募集期間 H28. 7/1(金)～10/21(金)
- ・ 書類審査 H28. 11/8(火)
- ・ プレゼン審査 H28. 11/25(金)・26(土)
- ・ 最終審査会 H29. 2/21(火)|

◆応募件数等

- ・ 応募件数 69 件(一般部門 25 件、学生部門 44 件)
- ・ 入賞件数 10 件(一般部門 6 件、学生部門 4 件)



審査員とコンテスト入賞者による記念撮影

<B-nest カフェ>

◆創業スタートアップ講座（全5回連続講座/参加者 56 人）

起業予定者を対象に、B-nest 経営応援団（中小企業診断士）によるミニセミナーを開催した。マーケティングの基礎知識や資金計画の立て方、ビジネスプラン作成等の講義のほか、市内で活躍している起業家を訪問し意見交換を行った。

◆女性限定セミナー「スタートアップ交流会」（3回開催/参加者 79 人）

起業に興味がある女性や起業を目指す女性たちのネットワーク構築を支援することを目的に、市内で活躍する起業経験のある女性の経営者を招き、交流会を行った。

◆女性限定「起業スタートアップ講座」（1回開催/参加者 43 人）

平成 29 年に度開催を予定している女性限定「起業スタートアップ塾」のプレセミナーとして、働く女性支援の専門家を講師に迎え、「女性の起業に大切な SNS を活用した情報発信のコツ」等の講義を行い、終了後には参加者間の交流会を開催した。

熱意ある女性達が集まり、参加者同士活発な意見交換が行われた



② マーケティング支援事業

中小企業に対する支援として、マーケットインの発想に基づき、「売れるもの」をどう創り、どう売るかという、マーケティングに特化した支援事業を実施した。

＜マーケティング支援講座（セミナー・研修・講座の企画・実施）＞

起業家、中小企業者、従業員に対し、マーケティング発想を醸成する目的で、マーケティングの主要な課題を網羅した「マーケティング支援講座」を開催した。本年度は、新たに市場調査や広報等も取り入れたバラエティに富んだ講座を実施し、よりタイムリーで実践的な内容を中心に学習及び交流する機会を提供した。

- ・「マーケティング支援講座」の開催 開催回数 11 回 参加者数 649 名
- ・「マーケティング支援講座」以外の中小企業支援セミナー等の開催

開催回数 3 回 参加者数 83 名



熱心に聴講する受講者



講演後に交流会で意見交流する受講者

＜静岡おみやプロジェクト＞

地域資源を活用した“新しい静岡を代表するお土産”を目指し、静岡市内の食品事業者が約 10 ヶ月をかけて商品開発から販路開拓・販売までを一貫して実践し、マーケティングのノウハウやスキルを習得できるよう支援した。

第 8 回を迎えた本年度は、スイーツ 3 社、乾物 1 社、茶業 1 社、商店主グループ 1 という構成でメニューに従い、商品化の実現に加え、企業間での情報交換や協力体制も盛り上がるなど、参加者の達成感もより高まった。

◆プロジェクトメニュー

- ・勉強会 12回
- ・個別相談会 3回
- ・合同商品試食評価会 1回
- ・テストマーケティング 1回

(開催日：平成 28 年 11 月 26 日、27 日 場所：ツインメッセ静岡 (産業フェアしずおかに出展))

- ・首都圏における商談会開催 1回 出展数 37社

(開催日：平成 29 年 1 月 27 日 場所：秋葉原 UDX)

- ・成果発表会開催 1回

(開催日：平成 29 年 3 月 8 日 場所：静岡市産学交流センター)

- ・お披露目販売会開催 1回 出展数 21社 (2日間)

(開催日：平成 29 年 3 月 25 日、26 日 場所：エスパルスドリームプラザ)



売場戦略講座にて陳列方法を学ぶ参加者たち



お披露目販売会の風景

開発商品の数々

静岡抹茶プリン
あずきとミルクの3層仕立て



山梨罐詰 (株)

ふわふわ梅ちゃふおん



梅辰 (株)

桜えびのとろとろ玄米粥スープ



(株) カネジョウ

しずおか茶あ飯の素



(株) マルヒデ岩崎製茶

しずおかスティック



するが夢倶楽部

Cat (キャット)! サブレ



(株) ベルエキップ・プラス
すずとら

③ 産学連携事業

大学等（学術界）が保有する高度で専門的な知識や技術等を市内の企業（産業界）が活用できるよう橋渡しをした。

<産学連携コーディネーター相談事業>

コーディネーターによる相談、大学等または企業への橋渡しを実施した。今後も更なる支援強化に向け、引き続き各大学の産学連携コーディネーターと連携強化を図り、マッチング件数の増加に努めていく。



企業と大学との努力の結晶について聴講できる、産学共同研究発表会

◆産学連携コーディネーター相談件数 262 件

地域企業の
技術的相談
に対応する
コーディネーター



◆企業と大学等との連携推進（事例セミナー、企業及び大学見学会の開催）

- | | |
|--------------------|-----------|
| ・産学官共同研究の事例に学ぶセミナー | 参加者数 78 名 |
| ・（株）コーヨー化成見学会 | 参加者数 20 名 |
| ・セイリン（株）見学会 | 参加者数 16 名 |
| ・山梨罐詰（株）見学会 | 参加者数 18 名 |
| ・静岡県工業技術研究所見学会 | 参加者数 13 名 |

<地域課題に係る産学共同研究委託事業の実施>

静岡市が重点的に振興を図る産業戦略分野※₁で、中小企業者や各団体が大学等と共同で行う新製品の開発・事業化、新たな事業への進出や社会・経済・環境の変化に対する取り組み等（調査・研究・開発事業等）を支援した。

研究事業		企業 (中心団体)	大学
基礎 コース ※2	新規な燻製レトルト黒はんぺんの開発	(株) いちうろこ	東海大学海洋学部
	竹粉の乳酸発酵技術の開発及び発酵食品への応用	(株) サイエンス	静岡県立大学食品栄養科学部
	医療用器具のデザイン化への研究開発	(株) 平垣製作所	静岡大学教育学部
	魚由来ヘム鉄を原料としたメンタルサポートサプリメントの開発	(株) ヘルシーパス	静岡大学教育学部
	腸内フローラの改善を目指した高機能性柑橘加工品の開発	マコジヤパン (株)	静岡県立大学食品栄養科学部
	竹パウダー肥料を用いた地域ブランド農作物の開発	丸徳商事 (有)	静岡大学学術院農学領域
応用 コース ※3	三保地下海水を用いた養殖カワハギの高付加価値化研究	カネヘイ養魚場	東海大学海洋学部
	「静岡のバラ」ブランド化に向けたバラ抽出エキスの事業化とその関連製品の開発	(一社)静岡バラ振興会	静岡大学グリーン科学技術研究所

- ※1 ①食品・ヘルスケア ②エネルギー・海洋 ③観光・ブランド ④クリエイティブ
⑤清水港・ロジスティクス ⑥その他地域活性化・新産業創出に関連する分野
- ※2 基礎コース（委託限度額100万円）では、主に、「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択した。
- ※3 応用コース（委託限度額200万円）では、主に、「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化（商品化）が見込めるものを採択した。

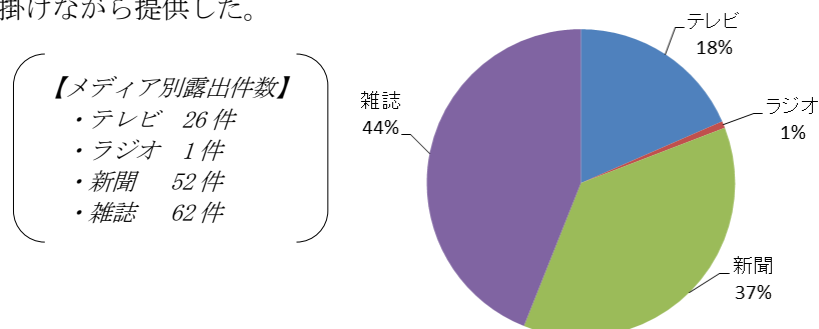
④ 情報提供事業

当センターの認知度の向上と利用者の拡大に向けて、起業者及び中小企業者等に対して、当センターや他の産業支援機関等の情報を分かりやすく提供した。

<ホームページ・メールマガジン・広報誌等による広報事業>

当センター、国・県・市等の各行政機関及び産業支援団体等の産業支援に関する情報について、ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook メディアへの露出割合
や広報誌「B-nestFACE」等の媒体により、分かりやすくタ

また、メディアへの登場等、当センターの露出回数増にも注力した。



<ラウンジ等における情報提供>

当センターのラウンジ等にて、「静岡おみやプロジェクト」、「産学共同研究委託事業」及び「SOHO しずおかビジネスプランコンテスト」等で新たに開発された製品の展示やそれらに関する情報を提供した。また、国・県・市等の各行政機関、他の産業支援団体及び大学等の産業支援施策の情報の一元的な提供にも努めた。

⑤ 施設提供事業（静岡市産学交流センターの維持管理）

<貸会議室業務>

中小企業や大学等の打ち合わせや研修会、講演会等に施設の貸し出しを行うとともに静岡市からの受託による施設使用料徴収事務を実施した。

- ・利用件数 2,378 件
- ・開館時間 月曜日～土曜日 9 時 30 分～22 時 00 分

※ただし、休館日（日曜日、国民の休日及び 12 月 28 日から翌年 1 月 5 日）を除く。

◆利用状況の推移

区分 年度	開館日数 (日)	来場者数 (人)	来場者数内訳(人)			利用 コマ数	総 コマ数	平均 利用率※ (%)
			会議室 利用者数	相談者数	日平均			
H24	295	68,205	67,456	749	231	6,423	11,800	54.4
H25	299	66,736	65,796	940	223	6,439	11,960	53.8
H26	298	67,249	66,070	1,179	226	6,393	11,920	53.6
H27	297	67,855	66,747	1,108	227	6,165	11,880	51.9
H28	295	61,406	60,326	1,080	208	5,777	11,800	49.0

※平均利用率＝利用コマ数÷総コマ数（各室 1 日 5 コマ×全 8 室×開館日数）×100

(4) 静岡市中小企業支援センター事業

静岡市から、静岡市中小企業支援センターの指定法人の指定を受け、中小企業が抱える様々な問題に対して診断・助言を行う等の各種事業を実施した。

① 窓口相談等事業

中小企業者や起業を目指す人の課題解決のために、経営の専門家である中小企業診断士で構成する窓口相談員（B-nest 経営応援団）を中心に、経営相談、マーケティングアドバイス、起業相談を行った。B-nest カフェや他の事業からの窓口相談への誘導を図ったほか、ホームページやメールマガジン等の多くのツールを使い、本事業の周知に努めた。また、窓口相談へのさらなる誘導策として、各診断士によるミニワークショップ「ちょこっとアフター 6 勉強会※」も開催した。※毎回、各診断士の得意・専門分野を中心に様々なテーマを取り上げた。

◆B-nest 経営応援団による相談

- ・窓口相談員の配置 5名（経営、資金計画、販路開拓、農業支援、店舗開発等）
- ・開設時間 月曜日から金曜日 13時から19時（産学交流センター）
土曜日 10時から17時（御幸町図書館）

◆相談件数 818件

◆相談成果

新規開業	新商品開発
24件	23件

② 専門家派遣事業

中小企業者が抱える様々な問題に対し、当センターに登録された民間の専門家を事業者に派遣し、経営等に関する助言を行った。

- ・実施分野 経営全般・情報化・マーケティング・デザイン
- ・実施回数 [一般枠] 119回／25社
(経営改善支援 11社、デザイン開発支援 2社、マーケティング支援 5社、
情報化支援 7社)
[創業枠] 27回／7社
- ・登録アドバイザー 95名

③ 新連携・地域資源活用プログラム等利用支援事業

国の進める「新連携」や「地域資源活用プログラム」等の国庫補助制度の採択に向け、静岡市における地域資源や企業の技術、ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化を推進するため、他の支援機関と連携を図りながら支援した。

- ・地域資源活用プログラム支援 (Refre 玉川、はぴまプロジェクト、白石雛具)
- ・農商工連携支援 (ALL しずおかビールプロジェクト ※継続支援)

④ 中小企業等販路開拓支援事業

多くの中小企業にとって喫緊の課題である販路開拓について、次の支援策を実施した。

本年度、第7回目となる「静岡おみや首都圏商談会」では、出展者の枠を広げ、首都圏のバイヤーに静岡の魅力をPRした。

「静岡おみやプロジェクト」事業及び開発商品の認知度向上を図るツールとして、これまでの全42品を掲載した「静岡おみや手帖」を発行。併せて松坂屋静岡店にてプロモーションイベントを開催するなど、新たな領域にも取り組んだ。その他、販路開拓を目指す中小企業（食品事業者）に対して、バイヤーとの商談やPRの機会を提供するため各種イベントに出店した。



これまでに開発した42商品が掲載された「静岡おみや手帳」

◆首都圏商談会 「静岡おみや首都圏商談会」を東京秋葉原にて開催

- ・期 日 平成 29 年 1 月 27 日(金)
- ・会 場 東京秋葉原 UDX
- ・出展者数 37 社(静岡市 12 社/焼津市 9 社/磐田市 5 社他)
- ・来場バイヤー数 298 名(食品バイヤー等) ※前年 211 名

◆各種イベントへの出店等

- ・ AKOMEYA TOKYO 新宿店に出品
- ・ フェスティバルガーデン(駿府城公園)に出品(5/2~5/5)
- ・ 駿府楽市 展示販売会に出品(5/12~5/18)
- ・ 静岡市 シニアサポーター事業「シニアイキイキサポート」の地場産品商品カタログに、「おみや」17 事業者の商品掲載
- ・ 「やいづとくさんプラザ」にて商品取扱開始
- ・ しんきんビジネスマッチング(ツインメッセ静岡)に出店(10/14)
- ・ 丸井静岡店リニューアルイベントに出店(11/14~11/20)
- ・ 産業フェアしずおか(ツインメッセ静岡)に出店(11/26、27)
- ・ 静岡市交流会 in 東京にて開発商品 PR(12/14)
- ・ 松坂屋静岡店 ポップアップストア開設(2017/2/10~2/21)
- ・ しずおかマルシェ(新東名静岡サービスエリア上下線)「しずおかセレクション」出品(2017/2/10~4/16)
- ・ エスパルスドリームプラザ販売会に出店(3/25、26)



多くのバイヤーで賑わう首都圏商談会 in 秋葉原 UDX

⑤ 制度融資関連事務

中小企業者が事業運営上必要とする資金を調達するための、中小企業融資制度事務を静岡市から受託し、申請書類の受付事務を行った。

- ・ 申請受付件数 1,455 件
- ・ 申請金額 8,608,236 千円

【申請受付内訳】

制度	申請受付件数 (件)	申請金額 (千円)
小口資金	51	195,400
短期経営改善資金	514	2,827,474
産業振興資金	807	5,375,515
創業支援資金	31	84,670
設備投資強化資金	8	125,177
セーフティネット保証	44	
合 計	1,455	8,608,236

セーフティネット保証は認定事務のみ。

2 収益事業

(1) 公益目的事業以外の展示場の貸与（ツインメッセ静岡）

公益目的以外の企業活動等に展示場施設を貸与し、収入増に努めた。なお、主な事業は、以下のとおりである。

催 事 名	使用期間
ミキハウス ファミリーセール in 静岡	4/1～3 9/30～10/2
大相撲富士山静岡場所	4/9・10
伊藤忠ファミリーフェア	6/10～12 12/16～18
第12回 DOG！フェスタ	7/23・24
将棋日本シリーズ JTプロ公式戦／テーブルマークこども大会	7/29・30
静岡大恐竜博	8/9～8/22
静岡マツダ 特設展示会	8/26～28 2/17～19
SOFT DARTS PROFESSIONAL TOUR JAPAN 2016 STAGE 9	9/3・4
ディズニー・オン・アイス 「アナと雪の女王」 静岡公演	9/6～12
木内建設グループ大運動会	9/25
静岡輸入中古車大商談会	9/30～10/2
ネットヨタ静岡 150 現車大即売会	10/14～16
スノーボード天国	12/2～4
河合塾主催 センター試験プレテスト	12/3・4
静岡・山梨地区ユニー食品展示会	2/28～3/1
第17回 静岡 CISS 決算感謝フェア	3/3～5
グランプリ静岡	3/16～19

(2) 施設利用者等の利便性向上

テナント方式によるレストランの他、施設内に飲料水等の自動販売機やコインロッカー等を設置して施設利用者、来場者の利便を図るとともに協会運営のための収益確保に努めた。

サービス施設・設備	数量等
レストランテナント	1 社
飲料水自動販売機	32 台
たばこ自動販売機	1 台
コインロッカー	25 枠
携帯電話充電器	2 台
コインコピー機	1 台

3 施設利用促進事業

(1) 施設見学会の開催

中部横断自動車道開通に伴い、静岡に販路拡大を目指す企業・団体向けに「ツインメッセ静岡」の見学会を実施し、施設の利用促進に繋げる営業活動を実施した。

◆ 「ツインメッセ静岡」見学会

ツインメッセ静岡の施設機能をPRするとともに、「産業フェアしずおか」の視察を通じて、展示会への出展や開催を促した。

- ・開催日 11月26日(土)
- ・工程 JR甲府駅—日本平—ツインメッセ静岡—
グランシップ—JR甲府駅
- ・参加者 16人(山梨地元企業等)



「ツインメッセ静岡」見学会に参加した山梨県の企業、団体の面々

(2) 個別訪問活動

施設利用を促進するため、企業団体等の個別訪問や既存利用者の継続利用を要請した。

- ・主な訪問先 (株)すぱーす百貨、(株)JTB コミュニケーションデザイン、
(株)ニューズベース、(株)全国賃貸住宅新聞社、(株)情報伝達研究所、
(株)リクルートライフスタイル、OBM ジャパン(株)

(3) 展示会への出展

① 第14回しんきんビジネスマッチング静岡2016

地元中小企業と情報交換しながら「ツインメッセ静岡」をPRした。

- ・開催日 10月12日(水)
- ・会場 ツインメッセ静岡
北館大展示場・南館大展示場
- ・出展者数 400団体
- ・来場者数 15,000人



企業関係者にツインメッセ静岡をPR

② 山梨しんきんビジネスマッチング2016

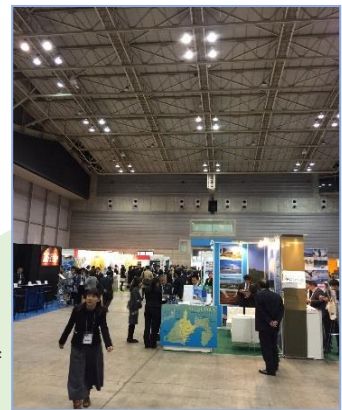
- ・開催日 10月26日(水)
- ・会場 アイメッセ山梨(甲府市大津町2192-8)
- ・出展者数 68団体
- ・来場者数 410人

③ 国際ミーティング・エキスポ

コンベンション情報の交換、誘致等を目的に、静岡観光コンベンション協会が出展する静岡ブースで「ツインメッセ静岡」をPRした。

- ・開催日 12月6日(火)・7日(水)
- ・会場 パシフィコ横浜 展示ホールA
- ・出展者数 74団体
- ・来場者数 2,791人

パシフィコ横浜に設置された静岡ブース



(4) 広報媒体の活用

ツインメッセ静岡で開催される催事について、公共施設、金融機関、県内観光施設、バスターミナル等、人の多く集まる施設にイベントカレンダーを掲示、配布したほか、催事広告ケースへのポスター掲示やインターネット情報サイト、イベント情報誌、新聞広告など施設、祭事等のPR活動を積極的に行った。

◆イベントカレンダーの配布

- ・発行部数：12,000部（年6回・隔月発行）
- ・設置場所：静岡県庁、静岡市役所、金融機関、静岡県内観光施設等 185箇所

◆広告掲載

- ・雑誌広告 6件
- ・新聞広告 4件

(5) その他

<大規模コンベンションの共同誘致>

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う展示場問題を新たな利用者獲得の機会と捉え、単独では誘致が難しい規模の大きな展示会や展覧会を静岡市内に呼び込むため、グランシップとの間で「大規模コンベンションの共同誘致に関する協定」を締結した。また、2月にはグランシップと共に東京ビッグサイトを利用している展示会主催者を対象に活用セミナーを開催した。



H29.12.27(火) グランシップと大規模コンベンションの共同誘致に関する協定を締結
(場所：グランシップ12階特別室)



20団体、21名が参加した展示会利活用セミナーの風景（東京：都道府県会館）

＜ツインメッセ静岡経済波及効果調査＞

ツインメッセ静岡の有効性を検証するため、平成 28 年 1 月から 12 月までに実施されたすべての催事開催に伴う、投資・支出額をもとに「ツインメッセ静岡」が地域経済に与える波及効果を試算した。

- ・経済波及効果 年間 163 億 4 千万円（静岡市）
 - ※参考 第 55 回静岡ホビーショー 87 億 6,700 万円
 - シズオカ [KAGU]メッセ 2016 3 億 4,800 万円
 - 産業フェアしずおか 2016 6 億 100 万円

4 施設の利用状況等（ツインメッセ静岡）

(1) 展示場の利用状況

大展示場は、利用件数で4件、利用日数で9日の減少となり、利用率は1.3ポイント減少し54.3%となったが、定時利用の催事はほぼ例年並みであったほか、技能グランプリを始め大相撲や恐竜博など、比較的大きな催事が新たに開催された。

小展示場は、利用件数で6件、利用日数で123日の減少となり、利用率は8.6ポイント減少し31.9%となった。これは、前年度、長期に渡り利用された国勢調査での利用が減少したためである。

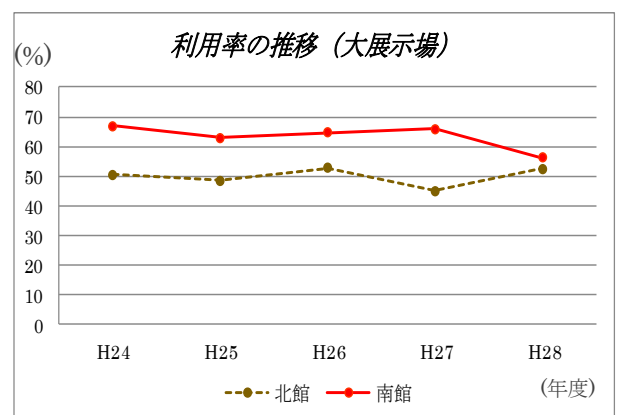
① 利用件数・利用日数・利用率

<大展示場>

()は前年度

	北 館	南 館	計
件 数	68 (62)	90 (100)	158 (162)
日 数	188 (162)	202 (237)	390 (399)
利用率 (%)	52.4 (45.1)	56.3 (66.0)	54.3 (55.6)

※休館日：12/29～1/3

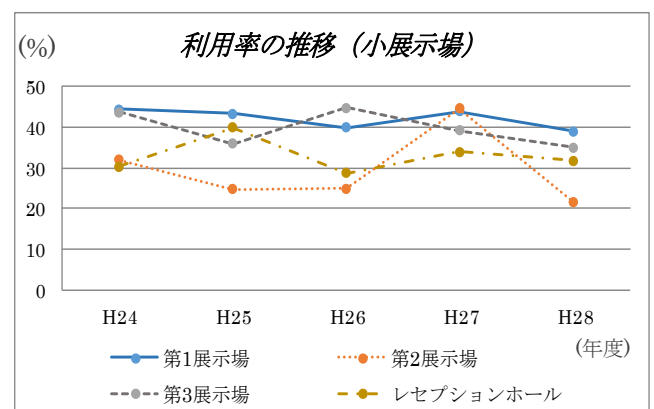


<小展示場>

()は前年度

	第 1	第 2	第 3	レセプション ンホール	計
件 数	75 (84)	40 (25)	59 (66)	59 (64)	233 (239)
日 数	140 (158)	78 (160)	126 (141)	114 (122)	458 (581)
利用率 (%)	39.0 (44.0)	21.7 (44.6)	35.1 (39.3)	31.8 (34.0)	31.9 (40.5)

※休館日：12/29～1/3



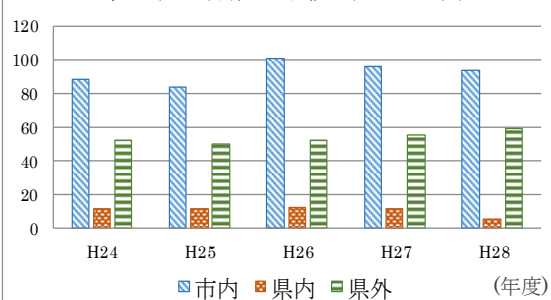
② 地域別利用状況

<大展示場>

()は前年度

	市 内	県 内	県 外	計
件 数	94 (96)	5 (11)	59 (55)	158 (162)
割 合 (%)	59.5 (59.3)	3.2 (6.8)	37.3 (33.9)	100 (100)

(件) 地域別利用件数の推移 (大展示場)

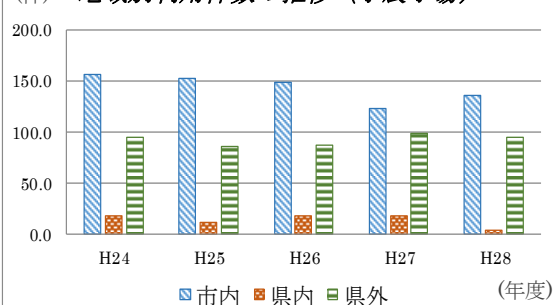


<小展示場>

()は前年度

	市 内	県 内	県 外	計
件 数	136 (123)	3 (17)	94 (99)	233 (239)
割 合 (%)	58.4 (51.5)	1.3 (7.1)	40.3 (41.4)	100 (100)

(件) 地域別利用件数の推移 (小展示場)



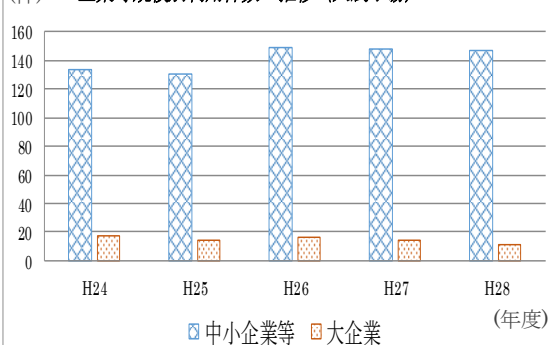
③ 企業等規模別利用状況

<大展示場>

()は前年度

	中小企業等	大企業	計
件 数	147 (148)	11 (14)	158 (162)
割 合 (%)	93.0 (91.4)	7.0 (8.6)	100 (100)

(件) 企業等規模別利用件数の推移 (大展示場)

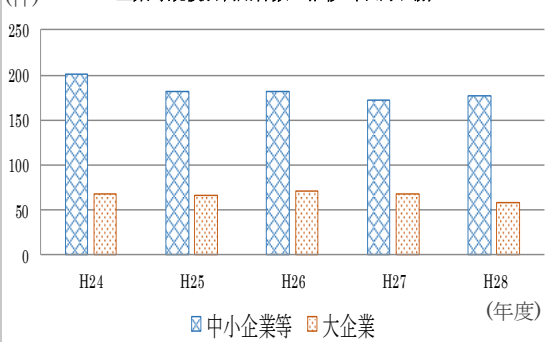


<小展示場>

()は前年度

	中小企業等	大企業	計
件 数	176 (172)	57 (67)	233 (239)
割 合 (%)	75.5 (72.0)	24.5 (28.0)	100 (100)

(件) 企業等規模別利用件数の推移 (小展示場)



④ 業種別利用状況

単位：件

業 種	大 展 示 場			小 展 示 場				
	北館	南館	計	第 1	第 2	第 3	レセプ	計
農林水産・食品等	7	8	15	1	1	6	2	10
産業機械・精密機械	4	1	5	7	3	2	1	13
建築・住宅・資材	4	15	19	17	8	8	13	46
医療・福祉・美容	3	4	7	17	1	5	8	31
家具・雛具・仏壇等	3	2	5	2	2	4	5	13
交通・車両・運輸	6	4	10	1	3	1	2	7
家 電	0	5	5	1	2	6	3	12
システム・OA・ソリューション	0	0	0	3	1	1	1	6
情報・通信・映像	0	0	0	2	0	1	0	3
物流・商社・店舗	17	12	29	3	5	5	7	20
衣料・呉服・宝飾等	0	2	2	1	2	1	3	7
スポーツ用品	0	2	2	1	1	2	0	4
家庭雑貨・文具	0	1	1	7	0	0	0	7
文化メディア・マスコミ	1	7	8	0	0	2	1	3
趣味・娯楽・ペット・プラモデル	14	14	28	9	2	5	2	18
行 政	2	2	4	0	2	1	1	4
学 校	7	6	13	1	4	5	5	15
その他	0	5	5	2	3	4	5	14
合 計	68	90	158	75	40	59	59	233

(2) 会議室の利用状況

中央棟会議室は、展示場利用に付随した利用も多いことから、小展示場の利用減少に伴い利用率は3.9ポイント減少し、62.5%となった。

西館会議室は、前年度は国勢調査の審査会場として長期に渡り利用されたため、平成28年度の利用率は8.8ポイント減少し、52.0%となった。

＜中央棟＞

()は前年度

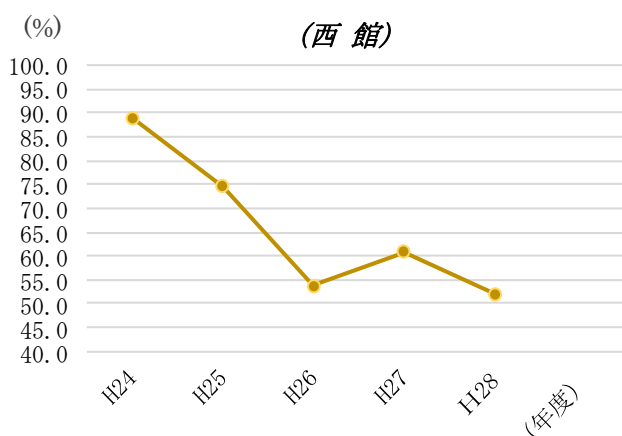
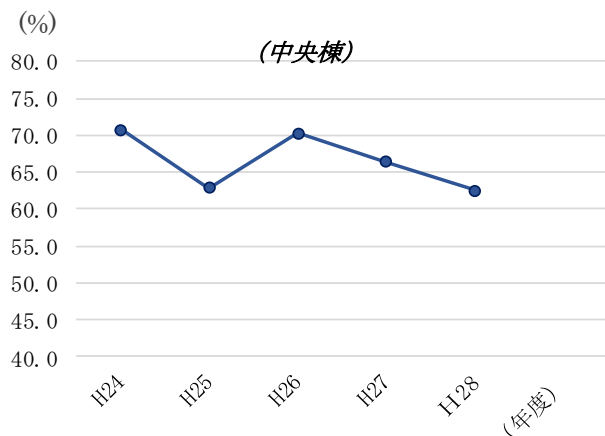
会議室	401	402	403	404	405	406	407	408	409	計
日 数	239 (238)	209 (215)	206 (230)	191 (225)	225 (250)	223 (241)	274 (277)	272 (299)	181 (176)	2,020 (2,151)
利用率 (%)	66.6 (66.1)	58.2 (59.7)	57.4 (63.9)	53.2 (62.5)	62.7 (69.4)	62.1 (66.9)	76.3 (76.9)	75.8 (83.1)	50.4 (48.9)	62.5 (66.4)

＜西 館＞

()は前年度

会議室	201	202	203	計
日 数	359 (360)	110 (95)	91 (202)	560 (657)
利用率 (%)	100 (100)	30.6 (26.4)	25.3 (56.1)	52.0 (60.8)

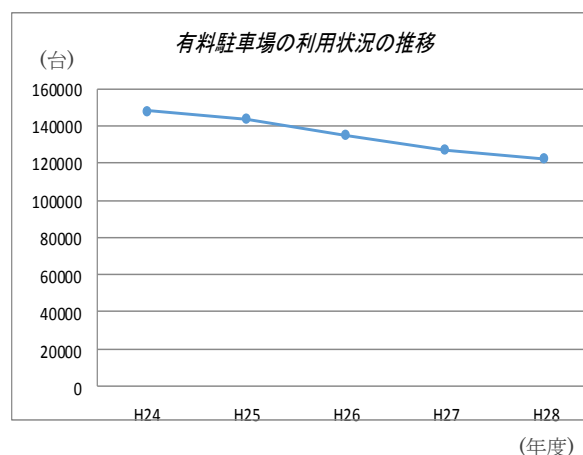
利 用 率 の 推 移 (会議室)



(3) 有料駐車場の利用状況

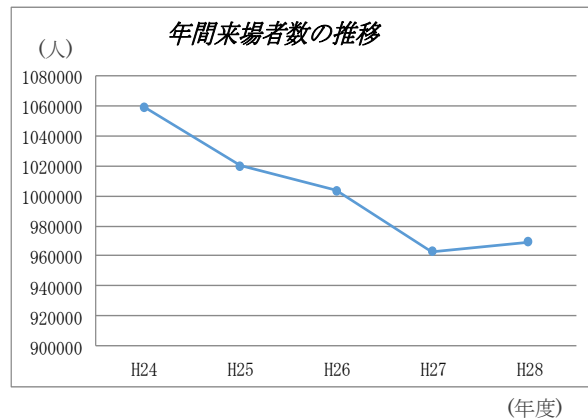
()は前年度

立体駐車場	地下駐車場	計
119,515 台 (123,665 台)	3,034 台 (3,341 台)	122,549 台 (127,006 台)



(4) 年間来場者数 ()は前年度

969,156 人(962,931 人)



5 施設・設備の修繕等（ツインメッセ静岡）

施設の良い状態を継続して保ち、利用者の安心、安全の確保並びに利用者サービスの向上を図るため、施設及び設備の修繕等を 106 件実施した。主な修繕は以下のとおりである。

	主 な 修 繕
1	南館大展示場屋根防水修繕工事
2	南館大展示場トップライト大波ガラス緩衝材落下防止修繕工事
3	北館屋外消火栓ポンプユニット交換修繕工事
4	北館加圧給水ポンプ修繕工事
5	北館雑用水市水切替修繕工事
6	西館外壁修繕工事
7	西館高架水槽取替修繕工事
8	西館エレベータ制御盤等修繕工事
9	北館及び中央棟エレベータ修繕工事
10	プロムナードエスカレーター修繕工事
11	立体駐車場泡消火設備修繕工事
12	北館大展示場スプリンクラー配管修繕工事
13	モール棟水銀灯LED交換修繕
14	AED看板修繕

6 理事会・評議員会等

(1) 理事会

開催年月日	議 題	審議 結果
H28. 4. 1 (臨 時)	(みなし決議による理事会) 副理事長の選任について	可決
H28. 5. 30 (定 時)	(1) 平成 27 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告及び決算の承認について (2) 定時評議員会の招集について (3) 債権放棄の承認について (4) <報告>平成 27 年度資金運用状況の報告について	可決 可決 可決 了承
H29. 3. 22 (定 時)	(1) 平成 29 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業計画について (2) 平成 29 年度公益財団法人静岡産業振興協会予算について (3) 公益法人変更認定申請の承認について (4) 評議員会への理事選任提案について (5) 平成 29 年度公益財団法人静岡産業振興協会資金運用方針について (6) <報告>ツインメッセ静岡の静岡市への経済波及効果調査結果について (7) <報告>大規模コンベンションの共同誘致に関する協定締結について (8) <報告>災害時における物資拠点等に関する協定締結について	可決 可決 可決 可決 可決 了承 了承 了承

(2) 評議員会

開催年月日	議 題	審議 結果
H28. 5. 18 (臨 時)	(みなし決議による評議員会) (1) 理事の選任について (2) 評議員の選任について	可決 可決
H28. 6. 17 (定 時)	(1) 平成 27 年度公益財団法人静岡産業振興協会決算の承認について (2) <報告>平成 27 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告について	可決 了承
H29. 3. 30 (臨 時)	(みなし決議による評議員会) 理事の選任について	可決

(3) 登記事項 (3 件)

H28. 4. 14	評議員、理事の変更登記
H28. 5. 26	評議員、理事の変更登記
H29. 3. 23	建物の抵当権抹消登記

(4) 役 員 [H29.3.31 現在] () は前年度

理 事	評議員	監 事	計
10 人 (10 人)	8 人 (8 人)	2 人 (2 人)	20 人 (20 人)

(5) 組 織 [H29.3.31 現在] () は前年度

職員数 29 人(31 人)

◆内訳：事務局長 1 (1) 課長 3 (3) 参事 1 (1) 担当課長 2 (0)

センター長兼プロジェクトマネージャー 1 (1) 主幹 3 (3) 副主幹 0 (1) 主任 6 (5) 主事 1 (2)

スタッフ 3 (4) 嘱託 5 (6) 非常勤 3 (4)

